

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 5 年 12 月 25 日

事業所名 スマイリーハーツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		収納など工夫している	
	②	職員の配置数は適切である	100%		十分な職員を配置している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	25%		特性によっては個別の空間を必要とする場合があるので小さくても個別で対応出来る空間づくりをしていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		常に清潔に保つよう清掃は徹底している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	75%	25%		これまで以上に個々の特性に沿った支援が出来るようPDCAサイクルを徹底していく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		日々頂いたご意見は職員間で共有して業務改善に取り組んでいる	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		年に一度実施している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%		第三者評価はまだ実施されていないが外部からの専門員による支援内容等は日々評価を行い業務改善に繋げていく
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		外部講師による研修を実施している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		アセスメントは細かく職員間で共有している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		アセスメントシートの改善を図るため現在内容の見直しをし、より分かりやすい内容で状況把握が出来るようにしていく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		日々職員間で共有し支援内容の見直しを行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		職員間で日々状況把握、共有している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		プログラム会議を実施に内容の共有をしている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		様々なプログラムが出来るようにカレンダーで予定を立てて実施している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%		個別対応、集団活動をバランス良く出来るように時間配分を考えて実施している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		当日の流れや役割の確認は朝礼で必ず行っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		終礼にて状況の把握と支援の振り返りを確実にしている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		支援記録やミーティングノートに記載して検証改善に繋げている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		半年ごとのモニタリングで細かく聞きとり計画書の見直しをしている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%		機会がない。実施される場合には児童発達支援管理責任者が参画して情報の共有を図る
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%		この地区は相談支援員が少ないと思う。周りがなかなか動かない場合はこちらから提案して積極的な連携を図っていく
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		100%		該当なし。また文部省管轄なのでなかなか相互理解を求めるのが難しい
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		100%		該当なし
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%		区の障害者支援センターとの連携や助言は受けており研修にも参加しているのでその内容を的確に職員間で共有するようにする

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%		地域のイベントに参加するなどして更なる 交流を深めるよう情報収集にも努めていく
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	25%		地域のイベントに参加するなどして更なる 交流を深めるよう情報収集にも努めていく
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	100%		日々の様子は なるべくその日 のうちに細かく お伝えするよう にしている	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている	100%		毎年一回は 開催するよう にしている	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	100%		契約時に細 かく説明して いる	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		毎回のモニタ リングで細かく 聞き取り、説明を するようにして いる	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	100%		いつでも相談 できる環境を 整えている	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		100%		コロナ禍にて未開催。また障害を隠し たい保護者も多いのであまり必要とも 思えない
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	100%		電話、来所等 いつでも相談 して頂ける体 制を整えてい る	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	100%		月に一度会 報を発行し活 動内容や連 絡事項を伝え ている	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		皆意識を持っ て管理してい る	
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100%		時間がある時 に見てもらえ るようなメッ セージツール	
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	100%		地域にある企 業を来訪し たり、のイベ ントになら るべく参加 するよう にしている。	
	非 常 時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	100%		毎月の会報 でも避難訓練 や緊急時対応 についてお知 らせするよう にしている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	100%		年に2回、地 震と火災の避 難訓練を実施 している	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の 子どもの状況を確認している	100%		保護者から細 かく情報の共有 をしてもらうよう にしている	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	100%		アレルギーのある児 童についてはわかり やすく記載して間違 いのないよう対応して いる	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	100%		職員間で共有 し再発防止に 努めている	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	100%		年に2回の研 修、及び虐待 防止委員会を 設けている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	75%	25%		契約時に細かく説明しているが、その内 容も職員間で共有するようにする

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。